

共産党名古屋市議団が子ども青少年局長に緊急申し入れ

大永寺保育園（守山区）の民間移管は中止に 名古屋市が2020年4月移管の取り消しを決定

日本共産党名古屋市議団は、6月24日、名古屋市に「大永寺保育園の民間委託を直ちに中止すること」を求める緊急の申し入れを行い、杉野みどり局長と懇談しました。

公立大永寺保育園（守山区）は、「名古屋市公立保育所整備計画」（2009年）に沿って、2020年4月に民間移管する予定で、今年4月から引継ぎ共同保育が開始されていました。

ところが、民間移管の公募要項で定められた「引き継ぎ保育士5人」の要件を満たさず、園長予定者も5月末に退職する異常な事態が生まれ、保護者の不安は極限まで達していました。

市議団の申し入れに対し、杉野子ども青少年局長から「公募要項に基づく引継ぎ保育士が配置されておらず、改善の見込みがないため、大永寺保育園の移管を取り消し、2020年4月からの移管を行わないこ

とを決定した」との返事がありました。

市議団は、公立保育所を123カ所から78カ所まで削減する計画そのものに一貫して反対

してきましたが、とりわけ今回の事態は「保育士不足により保育所運営が困難な状況が広がる中で、強引に民間移管を進めてきた結果であり、民間移管が限界に来ている」と指摘し、整備計画そのものの見直しを求めました。



子ども青少年局長(右2人目)に申し入れる
左から田口、さいとう、岡田、さはし各議員

2019年6月24日

名古屋市長 河村たかし様

日本共産党名古屋市議員団
団長 田口一登

大永寺保育園の民間移管を直ちに中止することを求める緊急申し入れ

名古屋市は、「名古屋市公立保育所整備計画」（2009年）にそって、公立保育所を123カ所から78カ所まで削減することを目標に、2026年度までに16ヶ所の民間移管計画を公表している。昨年度は、宝生・宮前・大永寺保育園の3か園の移管先法人が選定され、今年度4月から引き継ぎ共同保育が開始された。

ところが、公募要項では引継ぎ共同保育にあたる引継ぎ保育士が「原則5人」とされているにもかかわらず、大永寺保育園において、移管法人である社会福祉法人青山会が配置した引継ぎ保育士は4月当初から1名欠員のまま開始となった。

さらに、5月末には突然園長予定者が退職、6月にはいり、さらに引継ぎ保育士1名の退職の意向が明らかとなった（6月8日法人主催の保護者説明会）。

公募要項に反する事態が続く中で、法人と名古屋市との意思疎通ができていたのか、引継ぎ保育は今後どうなるのか、保護者の不安は極限まで達している。

6月8日の説明会では、参加された保護者から「異常な事態」「移管を白紙にしてほしい」との声が複数上がったと聞いている。

保育所は、乳幼児が生涯にわたる人間形成の基礎を培う大切な時期に生活の大半を過ごす場所であり、名古屋市は子どもの最善の利益を尊重し、人的・物的環境を整える責任がある。保育士不足により保育所運営が困難な状況が広がる中で、強引に民間移管を進めてきたことが、今回の事態を生むことになった。

大永寺保育園の保護者の不安を真摯に受け止め、保育行政の信頼回復に向け名古屋市に対し、以下を申し入れる。

【申し入れ事項】

1. 大永寺保育園の保護者との約束である公募要項に反する民間移管は直ちに中止すること。
2. 公募要項を満たさない事態が発生した原因を明らかにし、市民に説明すること。

以上